

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規  変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		熊本県菊池郡菊陽町大字原水4000-1			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 代表取締役 山口 宜洋			
事業概要		電子部品・デバイス・電子回路製造業			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	102,303.0	kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数			台
	<input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		令和3年度～令和7年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		ソニーグループは、2050年までに環境負荷をゼロにする「Road To Zero」を目標に掲げて活動。 省エネ法に準じ、原単位を前年度比1%以上削減する。 令和2年度の温室効果ガス排出量原単位を基準とし令和7年度に5%削減する。			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		環境マネジメントシステム名称	ISO14001	適用範囲	全事業所 取得年月日 平成14.
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギーに関する無駄の検証を行い改善を進める。</li> <li>・生産数量に合わせて生産しない設備は待機ではなく停止する。</li> <li>・新規導入時は、省エネ設備とする。</li> <li>・冷暖房設定温度(夏季28℃、冬季19℃)</li> <li>・植林(育林)の実施</li> </ul>			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2)年度	前年度の実績 ( )年度	目標年度(B) (7)年度	増減率 ((B-A)/A)
		145,127 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	155,505 t-CO <sub>2</sub>	7.2%
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		0.027 原単位当たり t-CO <sub>2</sub>	原単位当たり t-CO <sub>2</sub>	0.026 原単位当たり t-CO <sub>2</sub>	△ 5.0%
	原単位の考え方	温室効果ガスの排出量を生産数量(面積あたり)で除したものの			
特記事項					

- 備考 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。  
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
- 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。  
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。